

安全データシート (SAFETY DATA SHEET)

1. 製品及び会社情報

製品名:	ヒカリエース
会社名:	昭光サイエンス株式会社
住所:	〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南 1-3-3
担当部門:	東日本営業所
電話番号:	045-913-6688
FAX 番号:	045-913-5802
緊急連絡先:	045-913-6688
推奨用途及び使用上の制限:	実験器具・容器の洗浄。使用制限なし。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	分類できない
健康に対する有害性:	引火性液体 区分外
	自然発火性液体 区分外
	自然発熱性化学品 区分外
	急性毒性 (経口) 区分 5
	皮膚腐食性・刺激性 区分 2
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 2A
	特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) 区分 3 (神経系)
	※ 記載が無いものは「分類対象外」または「分類できない」に該当

環境に対する有害性: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

飲み込むと有害のおそれ
皮膚刺激をおこす
強い眼刺激

注意書き

安全対策:

取扱説明書に記載の調製法に従い、作業溶液を調製すること。
換気の良い所で使用すること。

応急措置:	<p>粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。</p> <p>保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。取扱後はよく手を洗うこと。</p> <p>飲み込んだ場合、気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。口を濯ぐこと。</p> <p>吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>気分が悪い時は医師に連絡すること。医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること</p> <p>眼の刺激が続く場合には、医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>皮膚に付着した場合には、多量の水と石鹸で洗うこと。</p> <p>皮膚刺激が生じた場合には、医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。</p>
保管:	容器の蓋をしっかりと締め、密閉状態で、換気の良い冷暗所に保管すること。
廃棄:	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

3. 組成成分情報

単一製品・混合物の区別: 本製品は混合物である

成分及び含量:

成分名	含量 (%)	官報公示整理 番号 (化審法)	官報公示整理 番号 (安衛法)	CAS 番号
生分解性キレート剤	1 ~ 3 %	—	—	—
非イオン性界面活性剤	6 ~ 10%	—	—	—
無機分散剤	1 ~ 4 %			
水	Balance	—	—	—

不純物及び安定化添加物: 非該当

4. 応急処置

吸入した場合:	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>気分が悪い時は医師に連絡すること。医師の診断/手当てを受けること。</p>
皮膚に付着した場合:	<p>汚染された衣類を脱ぎ、速やかに多量の水と石けんで洗うこと。</p> <p>皮膚刺激が生じた場合には、医師の手当・診断を受けること。</p>
眼に入った場合:	<p>水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合には、医師の診断を受けること。</p>
飲み込んだ場合:	<p>口の中を水で洗浄し、コップ 1~2 杯の水または牛乳、あるいは生卵を飲ませて、医師の手当を受けること。意識がない場合には、口から何も与えてはならない。</p>

5. 火災時の措置

消火剤:	水噴霧、泡消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器、ハロン系消火器等
消火方法:	一般火災に準ずる

6. 漏出時の措置

- 少量の場合:** 砂または不燃性吸収剤で取り除き、布等で拭き取った後、大量の水で洗い流す。
漏出により濡れた床は滑りやすいので、スリップ事故の原因となる。
- 大量の場合:** 必要に応じて漏出領域の換気を確保する。
漏出領域を盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 環境に対する注意事項:** 土壌、下水、地下水、河川等への放出を防ぐこと。環境中に放出してはならない。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い:** 換気の良い区域で使用する。
眼、皮膚との接触を避けること。飲み込まないこと。取扱い後は十分に手を洗うこと。
- 保管:** 容器を密閉し、直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
※直射日光により着色することがある
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策:** 換気装置を設置する。
- 管理濃度:** 未設定
- 許容濃度:** 未設定
- 保護具:** 呼吸用保護具 必要に応じてマスクを着用すること。
手の保護具: 適切な化学物質耐性の保護手袋を着用すること。
眼の保護具: 化学飛沫用ゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。
身体の保護具: 必要に応じて不浸透性防護衣を着用すること。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 外観:** 無色透明液体
- 臭い:** 僅かにレモン臭あり
- pH:** 12 ~ 13 (25 °C)
- 比重 (相対密度):** 0.99 ~ 1.0 (25 °C)
- 曇点:** 37 ~ 42 °C
- 引火点:** 無し
- 発火点:** 無し
- 爆発限界:** 無し
- 可燃性:** 無し
- 酸化性:** 無し
- 溶解性:** 水に可溶
-

10. 安定性及び反応性

- 安定性・安定性:** 標準状態では安定と考えられる。反応性は低い。

燃焼または分解生成物: 二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性:	利用可能な情報はない。
経口摂取による影響:	利用可能な情報はない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	皮膚への刺激（赤み,かゆみ,痛みを含む）が生じる。
眼刺激性:	接触により角膜損傷が生じる恐れがある。
皮膚感作性:	利用可能な情報はない。
生殖細胞変異原性:	利用可能な情報はない。
発がん性:	利用可能な情報はない。
生殖毒性:	利用可能な情報はない。
催奇形性:	利用可能な情報はない。

12. 環境影響情報

魚毒性:	利用可能な情報はない。
残留性と分解性:	生物分解性は良好。
蓄積性:	利用可能な情報はない。
その他の情報:	COD (Mn): 580 mg/L, BOD ₅ :630 mg/L (1%水溶液)

13. 廃棄上の注意

関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

輸送上の注意事項:	容器の破損,液漏れが無いことを確認する。荷崩れ防止を確実にすること。
漏出時の措置:	6. 漏出時の措置を参照。

15. 適用法令

消防法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
労働安全衛生法:	非該当
PRTR 法:	非該当
化審法:	非該当

16. その他,注意事項

本 SDS は取扱い等に関する情報提供を目的としたものであり,保証を意図して作られたものではありません。また,改訂日における情報に基づいて作成しておりますが,未知の危険・有害性があり得るため取扱いには充分注意してください。ご使用者各位の責任において,安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
